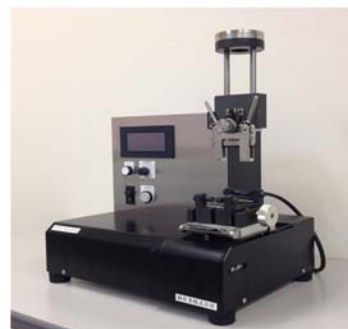


## 様々な刃物形状対応「切れ味測定装置」

轟産業(株) (福井市)

平成 23~25 年度 伝統的工芸品新機能開発事業

問合せ先 佐々木善教、金属加工研究G

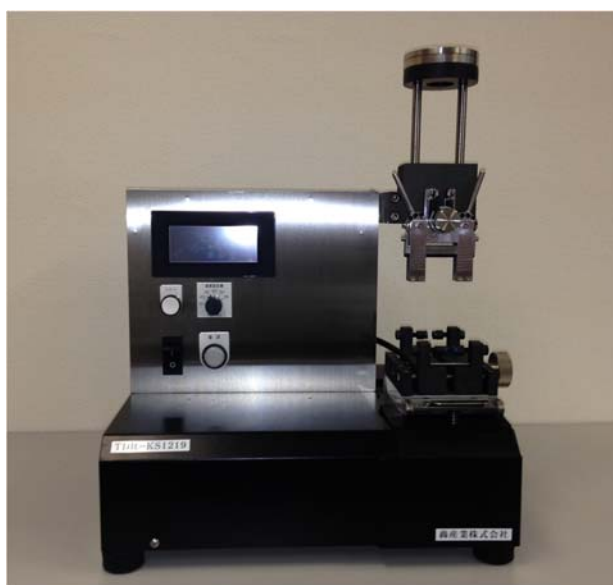


### 背景と経緯

刃物業界では、包丁などの刃物の切れ味評価は、本多式という切れ味定量評価方式を用いた試験機で行われてきました。また業界のニーズに、多様な形状の刃物試験ができるといいといった要望がありました。そこで、福井県工業技術センターは、従来から広く用いられている本多式評価方法をベースに刃物を任意の角度で固定できる機能を開発し、それによりこれまでより多くの形状の刃物の評価を可能としました。さらに、連続運転を可能な動作機構にすることで、耐久性の評価も可能な試験機を試作しました。この成果を轟産業(株)が活用し、様々な形状の刃物の切れ味を評価できる切れ味測定装置を開発しました。

### 成果と製品化の状況

「切れ味測定装置」は平成 25 年度に商品化しました。



切れ味測定装置



測定の様子